

テーマ5 計画を確実に進めていくための人づくり

施策の柱5.1 本計画推進のための庁内における環境意識の向上と人材育成

目標17

庁内における環境意識の向上を図るために、茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステムの周知啓発を徹底するとともに、生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習の機会を積極的に提供します。また、研修への参加、先進的取り組みを行っている自治体等への視察を積極的に実施します。

【目標担当課：環境政策課・景観みどり課】

■目標17の進捗状況

●茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)(※)の周知啓発

項目	実施時期	内容
C-EMSリーダー研修	4月	地球温暖化対策における自治体の役割、特に注意すべき環境法令
新採用職員研修	11月	茅ヶ崎市の環境、C-EMSの説明、ごみ処理の課題と解決に向けた取り組み
外部監査	11月中旬～ 12月下旬	文書監査・訪問監査及び前回外部監査結果への対応等に対する総合的な評価(報告書は市ホームページ、イントラネット(※)で公表)
課内研修	随時	環境活動目標設定研修・新任異動者レク(適宜)・法令遵守を確認する会(4半期に1回)、環境リスク対応研修(年に1回以上)
C-EMSレターの発行	不定期	外部監査実施結果、各年度の取組結果、夏・冬の節電対策等を全庁的に伝達し情報共有

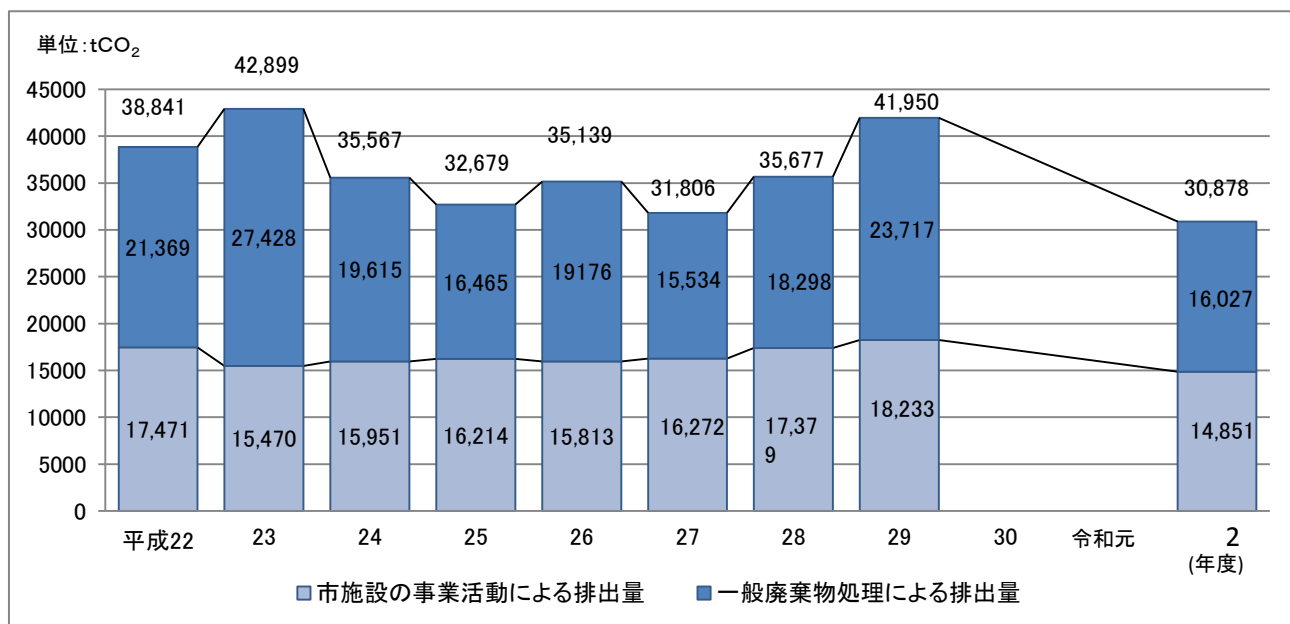
●生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習機会

項目	内容
自然環境(生物多様性)	・環境部、都市部への異動者を対象にした研修を実施しました。 ・市民・職員を対象とした研修会を実施しました。
地球温暖化	・茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)の周知啓発と併せて実施しました。

●外部研修への参加(平成23年度から30年度までに受講のもの)

主催	主な研修内容	参加職員の所属課
環境省環境調査研修所	環境教育、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル、土壌汚染、水質汚濁等	環境政策課、環境保全課、資源循環課
神奈川県	水質システム、大気水質、アスベスト対策、水質汚濁防止法、水道、特定外来生物対策、みどり行政、景観行政、生物多様性等	環境保全課、景観みどり課
神奈川県環境科学センター	県・市町村環境学習担当者研修	環境政策課、環境保全課
(公財)かながわトラストみどり財団	湘南グリーンコネクション	景観みどり課
神奈川県森林協会 ほか	森林・林業行政に係わる担当職員研修会	
公益財団法人 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター	連続講座「みどりを守り育む知恵・技術・心得」 連続講座「みどりの環境を守り育む力をみがく」	環境政策課

(参考) 茅ヶ崎市行政の温室効果ガス排出量



「生物多様性講演会」 平成31年3月12日

環境講座「生物多様性講演会」

講演 日常生活における
生物多様性との関わり
講師：東海大学教養学部
人間環境学科
藤吉 正明 教授

生物多様性って何？ 私たちの暮らしとどんな関わりがあるの？
湘南地域の野外調査など様々な活動をしている藤吉教授のお話です。

ミニ講座 「茅ヶ崎市みどりの基本計画生物多様性ちがさき戦略」について
平成31年3月に新たに策定される計画の紹介です。

日 時 平成31年3月12日(火) 14時～16時
(開場13時30分)
場 所 茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール
参加費 無料
定 員 50名(申込制・先着)
申 込 3月1日(金)～11日(月)に電話または来庁にて
主 催 茅ヶ崎市(環境政策課・景観みどり課)

お問い合わせ・お申込み
茅ヶ崎市 環境政策課
0467-82-1111(代表)



■概要

- ・茅ヶ崎市独自の環境マネジメントシステム(C-EMS)に基づき、市内のさらなる環境意識の向上を図るとともに、環境配慮行動の率先的役割を果たします。
- ・環境に関する情報を行政内の全ての部署で共有します。
- ・生物多様性について積極的に学習の機会を設け、職員への周知を図ります。
- ・知識や技術を習得するための研修、先進自治体への視察等の実施を支援し、環境に関する専門的知識を有する職員を育成します。
- ・階層別職員研修のさらなる充実を図り、市内横断的な施策をマネジメントできる能力を持った職員を育成します。

■平成30年度の取り組み

(1) C-EMSに基づく市内の環境意識向上と環境配慮行動の実践

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
C-EMS課内研修、新採用職員研修、リーダー研修	・前年まではマネージャーを対象としていましたが、平成30年度から各課かいのリーダーと担当者を対象として研修を実施しました。内容はC-EMS計画書を作成する際の注意事項や外部監査での良好事項や指摘事項、環境法令遵守等についてです。94名が出席しました。 ・後期新採用職員研修において、新採用職員43名を対象として、C-EMSについて説明を行いました。	環境マネジメントシステム推進事業 予算額【517千円】 決算額【511千円】	環境政策課
C-EMS外部監査	・平成30年度は、前年に引き続き、文書監査、訪問監査のほか担当者ヒアリングを加え24課かいを対象として外部監査を行い、事務局及び各課、小中学校の取り組みについて総合的な評価を行いました。 ・また平成30年度からの新たな取り組みとして、監査実施後に全ての課かいを対象に「平成30年度C-EMS外部監査結果報告会」を開催し、75名が参加しました。 ・外部監査の結果については、法令遵守に関する改善事項があったものの、C-EMSがおおむね適切かつ効果的に運用されていると評価されました。 ＊詳細は市ホームページで公表しています。		
C-EMSレターの発行	・平成29年度末に表彰した「茅ヶ崎市エコオフィス賞」及び「茅ヶ崎市エコ管理賞」について、夏季の省エネについて、グリーン購入について掲載し市の組織及び指定管理施設に周知しました。		
表彰制度「茅ヶ崎市エコオフィス賞」、「茅ヶ崎市エコ管理賞」の実施	・市の組織を対象とする「茅ヶ崎市エコオフィス賞」の応募が1件(産業振興課の「ごみの分け方・出し方の習得によるごみの減量化」)ありました。この取り組みはエコオフィス賞の受賞とはなりませんでしたが、茅ヶ崎市職員提案制度の「提案賞」を受賞しました。この取り組みを他組織へ波及させるため、をC-EMSレターで周知します。 ・指定管理者施設を対象とする「茅ヶ崎市エコ管理賞」の応募はありませんでした。		

(2) 自然環境、生物多様性についての職員への周知

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
「茅ヶ崎市みどりの基本計画」に係るヒアリング及び周知	・茅ヶ崎市みどりの基本計画連絡調整会議において、計画改定時にヒアリングを行いました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【5,165千円】 決算額【4,938千円】	景観みどり課
都市部局への異動職員への研修	・都市部への異動職員に対して、茅ヶ崎の自然環境、生物多様性への配慮に関する研修を実施しました。		
庁内イントラネットや通知による周知	・コア地域及びその周辺において、土地利用など自然環境が改変される可能性がある場合の情報提供を呼びかけました。		
自然環境庁内会議の定期開催	・月1回の定例会を実施し、課題解決に向けた議論と情報交換を行いました。(テーマ:茅ヶ崎市みどりの基本計画の見直し、土地利用相談の情報共有等) ・公共工事に関する情報共有をより的確に行えるように位置付けた専門委員会を含めた全体会を開催し、重要な自然環境の情報共有などを行いました。		
生物多様性に係る庁内研修	・平成31年3月12日に、神奈川県生物多様性事業支援に係るアドバイザー派遣制度を利用した環境講座「テーマ:日常生活における生物多様性との関わり」を開催しました。(参加者数:一般参加者、市職員合計55名)	市民・事業者・市との 環境活動連携支援事業 予算額【70千円】 決算額【0千円】	環境政策課
環境部局への異動職員への研修	・平成30年6月4日に、環境部への異動職員に対して、市内の重要な自然環境の視察等や生物多様性への配慮に関する研修を行いました。	環境基本計画の進行管理 ・策定事務 予算額【1,305千円】 決算額【406千円】	

(3) 知識や技術を習得するための研修の支援、環境に関する専門的知識を有する職員の育成

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
各種研修会への職員派遣	・平成30年9月25日～10月5日、国土交通大学校主催「土地利用計画研修」へ職員を派遣しました。	職員研修に関する 事務 予算額【9,227千円】 決算額【8,279千円】	職員課
職員研修報告会の実施	・平成30年11月9日、研修派遣等を通して学び、習得した様々な先進事例や専門的知識を、職員間で情報共有し、職員の意識や知識の向上を図ることを目的とする職員研修報告会を実施しました。		
各種研修会への職員派遣	・平成30年5月28日～6月1日、環境省環境調査研修所主催「平成30年度地球温暖化対策研修」へ職員を派遣しました。	部内調整事務 予算額【35千円】 決算額【10千円】	環境政策課
	・(公財)かながわトラストみどり財団主催の「みどりの実践団体交流会及び研修会(高木剪定の概要:職員1名参加)及び「粉砕機の取扱い講習会(職員2名参加)」に出席しました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【5,165千円】 決算額【4,938千円】	景観みどり課

(4) 階層別職員研修の実施

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
新採用職員研修	・平成30年10月31日、11月1日、「環境行政」について研修を実施	職員研修に関する 事務 予算額【9,227千円】 決算額【8,279千円】	職員課
担当主査級職員研修	・平成30年5月8日、9日、「マネジメント研修」を実施		
課長補佐級職員研修	・平成30年11月15日、16日、「マネジメント研修講座」を実施		
課長級職員研修	・平成30年12月26日、27日、31年1月25日「目標によるマネジメント研修講座」を実施		

※事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
・茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)研修は、平成30年度から各課かいの実務を担うリーダーと担当者に対象を変更し、現場での更なる環境意識向上を図りました。 ・C-EMSの外部監査では、C-EMSがおおむね適切かつ効果的に運用されていると評価され、研修等による庁内周知が図られているものと考えられます。また、平成30年度初の試みである全課を対象とした「外部監査結果報告会」では、優良事例や課題の共有を行い、全庁での環境意識の向上につなげました。 ・生物多様性に係る研修のアンケート結果では、回答者の9割以上が「生物多様性についての理解が深まった」と回答しており、生物多様性の大切さについて周知が図れたものと考えます。 ・外部研修の参加については、各担当課で積極的に行われています。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・C-EMSの外部監査の中で、一部の施設において「フロン排出抑制法」に基づく簡易点検や点検記録の保存が実施できていないという事項及び、「毒物及び劇物取締法」に基づく保管場所の掲示の誤表記に関する事項の2点が「改善事項」とされました。今後、事務局において実施する庁内研修の中で再度法令遵守についての周知を図ります。 ・職員が環境に関する知識を習得することができるよう、引き続き、研修会の活用等、取り組みを推進することが必要です。 ・C-EMSの表彰制度については応募数が減少傾向にあります。優れた取り組みをより多く抽出し、水平展開するため、応募増につながるような手法を検討します。	

施策の柱5.2 市民・事業者の環境意識啓発・人材育成、活動の支援

目標18

市民の環境意識の向上を図り、環境に関する活動への参加者数等を増やします。

【目標担当課:環境政策課】

■目標18の進捗状況

●環境に関する主な事業への参加者数

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
環境フェア来場者数(人)	約2,000	約2,000	約1,600	約1,900	約3,000	約2,000
里山はっけん隊！参加者数 (延べ人数)	56 (春・秋)	67 (春・夏・冬)	20 (秋)	49 (春・秋)	34 (夏・冬)	39 (秋・春)
こどもエコクラブ登録クラブ数	5クラブ	3クラブ	10クラブ	3クラブ	2クラブ	2クラブ
環境市民講座参加者数(人)	104	189	145	147	58	57
農業・漁業体験プロジェクト 参加者数(延べ人数) *平成23・24年度は環境政策課、平成25年 度以降は農業水産課が実施	148	218	202	177	280	99
公民館・文化資料館等 における環境に関する講座 参加者数(人)	1,464	1,959	3,172	2,929	2,330	2,215

(参考)家庭における省エネルギー・地球温暖化防止への取り組み

(省エネルギー・地球温暖化に関する意識調査集計結果)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
意識している	94%	81%	90%	90%	84%	83%
意識していない	6%	11%	10%	10%	7%	14%
どちらともいえない		8%			4%	4%

■概要

- ・市内の環境に関する情報や、市民活動団体、事業者、市等による環境への取り組みに関する情報等を積極的に発信します。
- ・市民・事業者を対象とした環境に関する事業をより充実させ、参加者の増大を図ります。
- ・社会教育等の機会を捉えて環境に関する講座等を実施し、地域の中で知識や経験を広げていくことのできる人材の育成を図ります。
- ・環境意識啓発について、先進自治体の事例も参考にします。

■平成30年度の取り組み

(1) 市内の環境情報、市民活動団体・事業者・市等の環境への取り組みに関する情報等の発信

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信(再掲)	・「広報ちがさき」(平成31年3月1日号)において、コア地域の重要性、貴重性の周知や、市民による保全活動の取り組みの紹介を行いました。 ・市ホームページに「参加してみよう!環境活動」のページを随時更新し、保全管理団体が実施する保全活動や講座についての周知を図りました。 ・環境フェアや講座等の開催にあたっては、広報紙、タウン紙、ホームページのほか、メール配信サービスやツイッター、デジタルサイネージ等、様々な媒体を用いた情報発信を行いました。	市民・事業者・市との 環境活動連携支援事業 予算額【70千円】 決算額【0千円】	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」を活用した情報発信(再掲)	・エコファミリー登録世帯の増加を目指し、夏の省エネコンテストや市広報紙、タウンニュース等への記事掲載、各種イベント等でのちらしの配布、ちがさき環境フェアへの参加等で制度の周知を行いました。登録世帯数は平成29年度末291世帯から424世帯となりました。 ・平成29年度に引き続き、みどりのカーテンの配布事業の受け付けをちがさきエコネットで実施したほか、みどりのカーテン写真投稿キャンペーンを開催しました。	ちがさきエコネット事業 予算額【1,128千円】 決算額【1,091千円】	
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信	・みどりの情報紙「ちがさき」を3回発行し、自然環境や生物多様性の保全に関する様々な情報を提供しました。 ・景観みどり課Facebookページを随時更新し、茅ヶ崎の自然や風景などの情報提供を行いました。 ・茅ヶ崎市内の景観に係る市民団体、みどりに係る市民団体の情報を一覧にまとめ、主な活動範囲や活動概要をホームページで紹介しました。	みどりの基本計画推進事業 予算額【5,165千円】 決算額【4,938千円】	景観みどり課

(2) 環境に関する講座等の実施

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
「ちがさき環境フェア」の開催(再掲)	・平成30年10月20日に環境フェアを開催しました(出展・協力団体64団体、来場者約2,000人)。市及び事業者等の協力でおもしろ環境教室(燃料電池、電気自動車、リサイクル、自然観察に関する教室)及びワークショップ(LEDに関するもの)を開催しました。	環境フェア開催事業 予算額【1,055千円】 決算額【892千円】	環境政策課
市民と連携した講座等の実施(再掲)	・平成30年6月30日に「かながわSDGs実行委員会」が開催したSDGsの普及啓発を目的としたフォーラム、10月28日に「NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク」が開催した自然エネルギーの普及啓発を目的とした映画上映会について後援しました。 ・平成30年9月8日に「神奈川県地球温暖化防止活動推進センター」が開催した温暖化防止に関する市民講座について2市1町湘南広域都市行政協議会より後援しました。	環境学習支援事業 予算額【182千円】 決算額【127千円】	

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
子どもを対象とした環境に関する講座等の実施(再掲)	・第6期「里山はっけん隊！」を実施し(秋・春)自然観察や保全作業を通じ、斜面林、農地、水辺、屋敷林等が織り成す里山景観の魅力を体験的に伝えました(参加者延べ39人)。 ・省エネや環境に配慮した料理方法を学ぶことができる「エコ・クッキング教室」を東京ガス㈱横浜ショールームのクッキングスタジオで開催しました(参加者18名)。 ・松林地区地域包括支援センターくると松林公民館共催の「松林赤とんぼクラブ」にて、「お役立ち小話『地球温暖化と家庭の省エネ』」を開催しました(参加者38名)。	環境学習支援事業 予算額【182千円】 決算額【127千円】	環境政策課
環境バスツアーの実施(2市1町広域連携事業)(再掲)	・親子環境バスツアーで「横須賀市リサイクルプラザアイクル」「クリクラ中央研究所」を、秋の環境バスツアーで「酒匂川流域下水道左岸処理場」「アサヒビール神奈川工場」を見学し、リサイクルの流れや工場の省エネルギーの取り組みなどを学びました(親子環境バスツアー参加者37名<茅ヶ崎市参加者12名>、秋の環境バスツアー参加者35名<茅ヶ崎市参加者11名>)。	省エネルギー及び地球温暖化対策に対する普及啓発事業 予算額【476千円】 決算額【434千円】	
みどりの保全セミナーの実施(2市1町広域連携事業)(再掲)	・日本大学生物資源科学部に協力いただき、小学生を対象とし、みどりの保全セミナーを行いました。地球温暖化防止に関する森林の役割や森林と生物の暮らしの関係について学び、演習林で森林環境や生物を観察しました(参加者42名<茅ヶ崎市参加者8名>)。		
ごみ処理施設見学	・自治会等を対象に寒川広域リサイクルセンター(※)、環境事業センター、最終処分場の見学会を14回実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 予算額【1,593千円】 決算額【1,378千円】	資源循環課
各公共施設における環境に関する講座の実施	・各公民館では、自然観察会や環境を意識した料理教室等、子どもから大人までを対象とした事業を各種実施し、環境について学ぶ機会を創出しました。	社会的要請課題をテーマとした事業(公民館)・子ども事業(公民館) 予算額【1,417千円】 決算額【1,051千円】	社会教育課
ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業	・5～8月、10月～12月に開講したちがさき丸ごと博物館講座(基礎編)で、茅ヶ崎の自然を学ぶ講座をカリキュラムに組み入れて実施しました。 ・9月にちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座(特別編)で「姥島の自然」を実施しました。講座後に実際に姥島で観察会を実施する予定でしたが、台風で中止となりました。 ・企画展「南湖 ザ ミュージアム」において、「南湖公民館周辺の自然観察会」を実施しました。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業 予算額【2,376千円】 決算額【2,343千円】	

※事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
・みどりの情報紙「ちが咲き」の発行、Facebookでの情報発信、市ホームページでの「景観みどりに係る市民団体」の一覧やマップの掲載、「参加してみよう！ 環境活動」ページでのイベント情報掲載等積極的な情報発信を行うことで、環境意識の向上に資することができました。 ・引き続き、市民活動団体等との協働により、自然環境、地球温暖化対策、資源循環等環境に関する講座を開催し、多くの市民の参加を得ることができました。 ・社会教育においても、各公民館での学習機会の創出のほか、「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業」における自然環境に関する講座の実施等、さまざまな機会を捉えた学習の場を創出できました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・今後も情報発信の方法の改善に努めながら、啓発活動の内容、対象など、工夫しながら継続していく必要があります。	

■概要

- ・市民活動団体や事業者に対し効果的な支援を行います。
- ・広報紙やホームページ等を活用し、取り組みを市内外へPRする機会の提供や表彰制度等のインセンティブを設けることにより、活動の促進と市民への普及、自主的な参加拡大を図ります。

■平成30年度の取り組み

(1) 市民活動団体や事業者に対する効果的な支援

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
環境美化推進事業	・海岸や公道、公園等の公共的な場所における清掃活動にあたり、ごみ袋や軍手を配布しました。 (参加人数:7,239人、ごみ袋配布数:10,813袋〔可燃450〕、3,683袋〔不燃450〕、1,900袋〔可燃・不燃120〕、軍手配布数:3,727双)	美化推進事業 予算額【12,397千円】 決算額【12,394千円】	環境保全課
環境美化に関する民間団体補助事業	・美化運動を自主的に実施している市内の団体に対し、美化意識啓発、花の植栽、美化清掃等の活動を対象として、補助金を交付しました。 (交付団体数:25団体)		
資源回収促進地域補助金制度	・137自治会等に対して、資源物収集量に応じた補助金を支出し、資源物の適正排出を推進しました。	ごみの排出抑制 推進事業 予算額【37,727千円】 決算額【35,062千円】	資源循環課
「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会」への支援	・21社(平成31年3月時点)で構成される「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会」の会員として事務を担当し、視察見学会、事業所見学会等を開催しました。事業所見学会と併せて、神奈川県内の生物多様性事業支援に係るアドバイザー派遣制度を利用した研修会を開催しました。 ・同団体と市民団体「清水谷を愛する会」、「相模川の河畔林を育てる会」と合同で保全作業を実施しました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【5,165千円】 決算額【4,938千円】	景観みどり課
環境保全活動をしている市民団体への支援	・平成30年3月に運用を開始した自然環境保全ボランティアあっせん制度に関して、受入団体からの要望をまとめ、より利用しやすくするために制度を変更しました。また、受入団体の活動日等をボランティア登録者へ周知しました。 ・広報紙、市ホームページ「参加してみよう！環境活動」のページ、みどりの情報紙「ちが咲き」等にて、市民活動団体が実施する保全活動や講座の周知を行いました。 ・「森林づくり活動」支援事業を利用し、清水谷を愛する会の保全活動を支援しました。		
環境学習会に関する講師派遣事業	・市民団体が開催する環境学習会の講師謝礼を市が負担する「環境学習会に関する講師派遣事業」を開始しましたが、活用実績はありませんでした。	市民・事業者・市との 環境活動連携支援事業 予算額【70千円】 決算額【0千円】	環境政策課

(2) 環境に関する取り組みを市内外へPRする機会の提供、活動の促進、市民への普及、自主的な参加拡大

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
「ちがさき環境フェア」の開催(再掲)	・平成30年10月20日に環境フェアを開催しました(出展・協力団体64団体、来場者約2,000人)。市民団体や事業者の環境活動をPRする「環境展」や事業者による「おもしろ環境教室」等を行いました。	環境フェア開催事業 予算額【1,055千円】 決算額【892千円】	環境政策課
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信(再掲)	・「広報ちがさき」(平成31年3月1日号)において、コア地域の重要性、貴重性の周知や、市民による保全活動の取り組みの紹介を行いました。 ・市ホームページに「参加してみよう！環境活動」のページを随時更新し、保全管理団体が実施する保全活動や講座についての周知を図りました。 ・環境フェアや講座等の開催にあたっては、広報紙、タウン紙、ホームページのほか、メール配信サービスやツイッター、デジタルサイネージ等、様々な媒体を用いた情報発信を行いました。	市民・事業者・市との 環境活動連携支援事業 予算額【70千円】 決算額【0千円】	
ポータルサイト「ちがさきエコネット」を活用した情報発信(再掲)	・エコファミリー登録世帯の増加を目指し、夏の省エネコンテストや市広報紙、タウンニュース等への記事掲載、各種イベント等でのちらしの配布、ちがさき環境フェアへの参加等で制度の周知を図った結果、登録世帯数は平成29年度末291世帯から424世帯となりました。 ・平成29年度に引き続き、みどりのカーテンの配布事業の受け付けをちがさきエコネットで実施したほか、みどりのカーテン写真投稿キャンペーンを開催しました。	ちがさきエコネット事業 予算額【1,128千円】 決算額【1,090千円】	
エコ事業者認定制度の活用	・平成30年度末時点で、16の事業者「エコ事業者」認定をしました。(30年度新規認定 1事業者) ・エコ事業者の取り組みを周知するため、「ちがさきエコネット」にエコ事業者のお知らせを周知できるページの検討を行いました。		

※事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
・環境美化や資源循環、緑化等に取り組む個人や事業者、団体に対する補助事業の継続的な実施や、自然環境保全ボランティアあっせん制度による保全作業への人的支援、広報紙や市ホームページ等を活用した市民団体の活動の周知等により、環境保全の取り組みを支援することができました。 ・市民団体への支援として、新たに環境学習会に関する講師派遣事業を制度として開始することができました。 ・環境フェアや広報紙、市ホームページにより各主体の取り組みを市内外へアピールする機会を提供することができました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・「環境学習会に関する講師派遣事業」については市民団体への積極的な周知を行い、活用を図る必要があります。 ・市民活動団体等への補助事業や人的支援等をしているところですが、更なる効果的な支援に努めるため、ニーズの把握が必要です。	

施策の柱5.3 学校における環境教育の充実

目標19

各学校と地域との連携による環境教育を充実させ、地域資源を活用した環境学習の回数を増やしていくとともに、スクールエコアクション(※)の導入による各学校での環境活動を継続的に実践していきます。

【目標担当課:環境政策課】

■目標19の進捗状況

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
地域資源を活用した 環境学習の回数	83回	97回	100回	79回	80回	74回
地域資源を活用した 環境学習の実施校数 (市立小中学校総数:32校)	29校	30校	31校	32校	27校	27校
こどもエコクラブ登録クラブ数	5クラブ	3クラブ	10クラブ	3クラブ	2クラブ	2クラブ

※スクールエコアクションの報告から①地域の自然環境を活用した授業・取り組み、②環境に関する施設見学等の取り組み、③地域の関係団体等の協力のもとに行われた取り組み、④地域の美化に関する取り組みを数えています。

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
スクールエコアクション 導入校	市立全小中学校 (32校)					

■概要

- ・学校における環境教育の支援を目的として、学校と地域を結びつける情報の提供を可能にする仕組みを構築・運用していきます。
- ・市内の環境のモニタリングと子どもたちの意識啓発を複合的に実現する仕組みへの展開を図っていきます。
- ・市内小中学校における環境教育の推進に向け、学校版環境マネジメントシステム(スクールエコアクション)を運用し学校生活での環境活動の充実を図ります。
- ・児童や生徒に現在の環境の状況、市民活動団体の活動内容、事業者や市の取り組み等を紹介し、環境への関心の向上と日常生活への反映を図ります。

■平成30年度の取り組み

(1) 環境教育の充実にに向けた情報提供の仕組みの構築・運用

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール(※)」掲載情報の随時更新	・「環境学習News」の発行や「スクールエコアクション発表会」の実施等に合わせて内容の更新を行いました。ダウンロードコーナーに「こどもエコクラブ教材」ダウンロードを追加しました。出前講座の紹介として、企業等の教育支援プログラム ポータルサイトのリンクを追加しました。	環境学習支援事業 予算額【182千円】 決算額【127千円】	環境政策課
学校関係者へのエコスクール周知	・市立小中学校の教員向け環境情報を載せた「環境学習News」を送付し、支援サイトの掲載内容等を周知しました。		

(2) スクールエコアクションの導入・運用と学校生活での環境活動の実践

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
スクールエコアクションに基づく取り組みの促進	・各校の環境活動報告書を市ホームページに掲載するとともに、その中から特色ある取り組みや体験型環境学習についてを一覧にまとめ、各校に情報提供し、相互の取り組みを参照できるようにしました。		
スクールエコアクション発表会の実施	・環境フェアにおいて、第一中学校、鶴嶺中学校、松浪中学校の生徒による発表会を行いました。 ・各校特色ある日頃の環境活動について発表を行い、「自分の学校ではしていない取り組みがあり今後取り組みたいと思う」という感想が多く聞かれ、発表が互いの刺激となっています。 ・スクールエコアクション活動展として、発表校以外の小中学校(9校)に、授業等で作成した環境に関する掲示物を10月15日から環境フェア当日(20日)まで会場に展示し多くの市民の方に御覧いただきました。	環境マネジメントシステム推進事業 予算額【517千円】 決算額【511千円】	環境政策課

(3) 学校の環境教育に対する支援等

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
教員向けの環境学習情報誌の発行	・教員向けの環境情報を載せた「環境学習News」を4月、5月、7月、11月に発行しました。自然環境評価調査結果、授業で活用できる学習ツールの紹介、出前講座メニューの紹介、各校の特色ある取り組みの紹介、スクールエコアクション発表会報告等、学校の取り組みの参考となる情報を掲載しました。	環境学習支援事業 予算額【182千円】 決算額【127千円】	環境政策課
出前授業の実施(茅ヶ崎市の環境)	・学校からの要請がなかったため実施しませんでした。		
出前授業の実施(河川水質調査)	・中学生を対象に、簡易測定(パックテスト)キット等を用いて、調査結果を記録・発表し、千ノ川の水質調査を体験してもらいました。	環境保全啓発指導事業 予算額【1,810千円】 決算額【1,717千円】	環境保全課
出前授業の実施(ごみの分別)	・小学校10校及び中学校2校で出前講座を実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業	資源循環課
「パッカー君のごみ探検」の配付	・小学4年生が行う環境学習向けに、副読本「パッカー君のごみ探検」を作製し、配布しました。	予算額【1,593千円】 決算額【1,378千円】	
自然観察会等への支援	・平成30年4月18日、西浜中学校1年生(約90名)の校内及び茅ヶ崎海岸での自然観察学習会を支援しました。 ・平成30年11月1日、鶴が台中学校1年生(約140名)を対象とした総合学習の一環として「茅ヶ崎の身近な自然等」について講演しました。同じく鶴が台中学校1年生(約70名)を対象とした、柳谷の自然観察会を支援しました。 ・平成30年11月16日、第一中学校1年生を対象とした県立茅ヶ崎里山公園での自然観察学習を支援しました。 ・環境教育の支援の一環として、茅ヶ崎寒川地区小学校教育研究会生活・総合部員を対象とし、行谷の自然環境に関する現地研修を行い、現状と課題についての研修会を行いました。	みどりの基本計画推進事業 予算額【5,165千円】 決算額【4,938千円】	景観みどり課

※事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
・環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」や「環境学習News」の発行を通じ、環境学習に役立つ教材の提供や出前授業の紹介、各校の特色のある取り組みや体験型環境学習の共有を行い、環境学習の支援を行いました。 ・学校版環境マネジメントシステム(スクールエコアクション)の導入により、市内の全小中学校において継続的な環境活動の実践が図られています。スクールエコアクション発表会等、取り組みの成果をPRする場を環境フェアに設けることで、多くの小中学生に環境フェアへの参加を促し、環境への関心の向上を図ることができました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・事業者や市民団体活動との連携による環境活動プログラムの提供については実現には至っておらず、環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」の発展的な活用等を視野に入れた検討が必要です。 ・出前講座(茅ヶ崎市の環境)については、数年依頼がないため、内容の見直しを検討する必要があります。 ・スクールエコアクションについては、各校の特色ある取り組みを他校でも展開し、活動の活性化に繋げる仕組みの検討が必要です。また、報告書の記載内容が固定化する傾向が見られることから、新たな取り組みの検討が必要です。	